

## 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

鳥取大学では、本学の基本理念「知と実践の融合」のもとに、教育グランドデザインに「人間力を根底においた教育」を掲げ、これをカリキュラムに反映させている。教員養成もこの理念に基づいて構想しており、教職に関する深い教養と使命感及び実践的指導力を兼ね備えた人間力豊かな教員を養成しようとしている。

特に、本学の教員養成の特徴である「開放制教員養成」を活かし、全学体制により構成された「教員養成センター」を中心に上述した理念をカリキュラム編成に具現化するとともに、附属学校園との協同による質の高い教育実習を通じて、人間の生涯発達の理解に優れ、かつ、学習能力形成に優れた実践的指導力を有する教員の養成を目標とする。

本学が教員の養成において目標とする教員像は、以下に示すとおりである。

- (1) 生涯にわたる人間発達と学習能力形成の理解に優れた教員
- (2) 校種間の教育に配慮し、一貫性のある人間教育に優れた教員
- (3) 全学体制による高度な専門性と多様性を身につけた教員

具体的には、次の5つの資質と能力をもった学生の養成を目指す。

- (1) 学習指導と生徒指導の両面を視野に入れて子どもに対応ができる資質と能力
- (2) 人間の生涯発達を視野に入れて子どもに対応ができる資質と能力
- (3) それぞれの子どもの特性に応じた配慮や工夫のもと、教科指導、生徒指導ができる資質と能力
- (4) 自らの専門以外にも興味関心を持ち、積極的かつ継続的に学びを進めることができる資質と能力
- (5) 同僚、学校内外の教員以外の専門職、保護者と連携することができる資質と能力

## 課程認定を受けている各学部学科における計画等

### 【地域学部地域学科】

地域学部地域学科における教員養成では、教職に関する科目、教科に関する科目に加え、地域学関係の科目の履修を通じて、大学の教員養成理念に示す教員としての高い資質と能力をもちながら、地域において、地域の人づくりや教育の構想と実践という広い視野から学校教育を捉え、地域住民と共同して学校教育をつくっていけるような、地域における人づくりのキーパーソンとしての役割を担う教員の養成を、以下の学科内の各コースで計画し、目指している。

### <地域創造コース>

地域創造コースでは、高等学校地理歴史科教諭及び公民科教諭、および中学校社会科教諭を養成する。

高等学校地理歴史科教諭については基本となる、日本史、外国史、人文地理学、自然地理学、地誌学について高度な専門知識と、空間軸および時間軸に沿った社会認識力を身につけた教員を養成する。

高等学校公民科教諭については基本となる、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学等について高度な専門知識と社会認識における応用能力を身につけた教員を養成する。

中学校社会科教諭については、日本史および外国史、地理学、法律学、政治学、社会学、経済学など広範な体系の全容を理解し、社会認識に必要な基本的事項に関する知識を身につけた教員を養成する。

#### <人間形成コース>

人間形成コースでは、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭の養成を行う。

幼稚園教諭については、幼児期の発達と学習及び幼児の生活の特質を踏まえながら、各領域における学習支援と発達支援の方法を深く学ぶと共に、教育実習等の幼稚園での実習に加えて、地域の教育関係施設等を対象として地域の教育課題を探究するフィールド・ワーク（「地域フィールド演習」）等の学修を通じて、地域に暮らす幼児を、家庭、学校、地域社会が連携を図りつつ、生涯発達の展望を持ちながら育成するためのキーパーソンとして、地域と密着して活躍できる専門知識と実践力を備えた教員の養成を行う。

小学校教諭については、学童期の発達と学習及び児童の生活の特質を踏まえ、各教科の内容および各教科をはじめとする各領域における学習支援と発達支援の方法を深く学ぶと共に、教育実習等の学校での実習に加えて、地域の教育関係施設等を対象として地域の教育課題を探究するフィールド・ワーク（「地域フィールド演習」）等の学修を通じて、地域に暮らす児童を、家庭、学校、地域社会が連携を図りつつ、生涯発達の展望を持ちながら育成するためのキーパーソンとして、地域と密着して活躍できる専門知識と実践力を備えた教員の養成を行う。

幼稚園教諭と小学校教諭の免許状を同時に取得する者については、それぞれの免許種に関わる資質や能力に加えて、幼児から学童期の発達と学習及びこの時期の子どもの生活の特質を全体的・連続的に捉え、幼小連携の在り方を含めて幼児期から学童期を連続して指導できる知識と実践力を備えた教員を養成する。

特別支援学校教諭については、障害児者の生理や病理、心理発達、教育といった基本的事項に関する専門知識に加え、全ての人々が地域の中で自分らしく生き生きと暮らし、社会参画していくことを支援するための、療育、保育、保護といった発達福祉の視点を兼ね備えた専門知識と実践力をもつ教員の養成を行う。

#### <国際地域文化コース>

国際地域文化コースでは、中学校国語科教諭、高等学校国語科教諭、中学校英語科教諭、高等学校英語科教諭を養成する。

中学校及び高等学校の国語科教諭については、日本語の構造について基礎的な知識を身につけるとともに、日本古典文学・日本近代文学・日本現代文学および漢文学の基礎的な知識の習得を目指す。その上で、本コースは、学生たちが日本語の歴史的特質や地域性を学ぶことで、日本語について通時的・共時的に分析、考察する力を養う。加えて漢文学との比較を含め、各時代の多様な日本の文学について学ぶことで、日本文学に内在する諸課題を自ら探究し、国語教育に活用できる教員を育成する。ほかに書道に関する授業を履修することで、書写教育の技能や実践を学ぶことができる。

中学校及び高等学校の英語科教諭については、まず英語における基礎的な文法や構造を理解

し、英米文学やその成り立ちについての基本的な知識の習得を目指す。また、英語圏の文化に精通するとともに、グローバルな視点から世界の様々な地域の関係を理解し、異文化に柔軟に対応できる資質を備えた教員を養成する。さらに、実践的な英語コミュニケーション能力の涵養や海外フィールドワークの経験を通して、世界に開かれた意識と行動力を身につけた教員を養成する。

## 【工学部】

工学部は、ミッションの一項目として、「教員免許の教科として「工業」だけでなく「数学」「理科」「情報」の取得カリキュラムを継続し、開放制教員養成に資する。また、初等中等教育での理数科教育を支援し、理工系人材の育成に資する」ことを掲げている。本学部の学位授与の方針で示す能力は、理工系教育を行う教員としても重要であり、この方針に基づいて編成されたカリキュラムにより、専門分野についての技術者教育の中で身につけた科学・技術の知識と社会との関係を自ら考え、次世代を担う中学生、高校生に対し伝えることができる教員の養成を以下の各学科で計画し、目指している。

### <機械物理系学科>

機械物理系学科では、高等学校教諭一種免許状(工業)、中学校教諭一種免許状(数学)、高等学校教諭一種免許状(数学)を取得できる。

高等学校教諭一種免許状(工業)については、基本となる力学や電磁気学、機械系の基本4力学+1と呼ばれる、材料力学、流体力学、熱力学、機械力学(振動工学)、制御工学を中心とした高度な専門知識と応用能力を身につけた教員を養成する。

中学校教諭一種免許状(数学)及び高等学校教諭一種免許状(数学)については、基本的事項に関する知識とともに、科学・技術の中における道具としての数学の応用方法を理解した教員を養成する。機械物理系学科の教育を形成する機械技術や物理学に関する科目の多くは数学に立脚した理論構築がなされている。本学科では、現代の機械技術に欠くことのできない、構造の変形や応力、振動の振幅や周期、流体の抵抗や温度分布などの数値的な技術計算など数学の具体的な適用対象を念頭においた教育を行う。これにより、数学の基礎知識と併せて、数学がどのように技術の中で利用されているかということや、数学が企画、開発、設計、品質保証、販売など工業活動のどのレベルにおいても欠くことできないといった、数学の応用面を理解した上で教育のできる人材を養成する。

### <電気情報系学科>

電気情報系学科では、高等学校教諭一種免許状(工業)、高等学校教諭一種免許状(情報)を取得できる。

高等学校教諭一種免許状(工業)については、電気や電子に関わる技術を中心とする高度な専門知識と応用能力を身につけた教員を養成する。

高等学校教諭一種免許状(情報)については、情報社会、情報処理、システム、ネットワーク、マルチメディアなどに関する科目を設け、日常的に行われる情報の収集・分析・発信について、技術的な面も含めて総合的な知識をもった教員を養成する。多くの人々が当たり前のように利用している情報機器やその利用法、電子媒体を中心とした情報の取り扱い、情報に関する倫理問題など、その役

割が非常に大きくなっている情報の現代社会における位置付けを教育する。また、情報についての技術的な基礎事項である計算機のハードとソフト、情報の取り扱い方法、ローカルおよびグローバルなネットワーク、画像処理や信号処理技術の組み合わせであるマルチメディアなどについて、演習を含めて教育する。これらの教育を通して、情報の取り扱いについて、技術的な面を深く理解するとともに、情報の社会における役割を理解し、スマートホンに代表される情報関連機器を高校生が日常的に使用しているという実態に即して中等情報教育を行うことのできる教員を養成する。

#### <化学バイオ系学科>

化学バイオ系学科では、高等学校教諭一種免許状(工業)、中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科)を取得できる。

高等学校教諭一種免許状(工業)については、有機化学や無機化学、物理化学などの基礎化学や応用化学、それらに裏打ちされた蛋白質工学や酵素化学などを中心とする高度な専門知識と応用能力を身につけた教員を養成する。

中学校教諭一種免許状(理科)及び高等学校教諭一種免許状(理科)については、化学や生物学に加え、物理学、地学に関する科目を設け、互いに関係する理科系科目について広く知識をもった教員を養成する。本学科では、化学、薬品、食品、エネルギーなどの産業と環境問題の解決に貢献できる材料や製品を創り出すことのできる人材育成を行う。とくに、人類にとって今後ますますその重要性を増す環境問題への対応には、現実に即した総合的な知識に基づいた社会的な合意形成と判断が必要となるが、日々新物質や新機構の発見がなされる化学や生物学の果たすべき役割が大きい。本学科では、有機化学、無機化学、分析化学、応用化学、生物科学、生物工学といった化学や生物に関する最新の専門知識を講義や実験を通して教育する。また、関連する理科系科目である物理学、地学に関しても複数の科目を設けて教育する。物理学は化学や生物学に原理原則を与えるという観点から、また、地学の知識は環境問題との関連という観点から、本学科の教育として取り入れているものである。理科離れを防ぎ、中高生の理科に対する関心を喚起するには、理科教育を行う教員に最新知識と自らの経験に裏打ちされた理科への愛着が必要である。本学科で行う教育によって、理科系科目についての総合的な知識とともに、新たな知見が迅速に中等教育の内容に波及する化学や生物についての最新知識と深い経験をもち、自ら理科への愛着をもった中等理科教育を行う教員を養成する。

#### <社会システム土木系学科>

社会システム土木系学科では、高等学校教諭一種免許状(工業)を取得できる。高等学校教諭一種免許状(工業)について、土木技術、調査、計画、政策立案などに関する高度な専門知識と応用能力を身につけた教員を養成する。

#### 【農学部生命環境農学科】

生命環境農学科では、自律的な実行力を基盤として、幅広い知識を基に論理的判断力・創造的思考力を磨き、専門性を高め、いかなる困難な課題に対しても高い倫理観と協働力をもち立ち向かえる人材を養成することを教育理念として掲げている。この教育理念に基づき、地域規模(ローカル)から地球規模(グローバル)までの広範な課題の解決のために高度な専門知識と応用力を身

につけ、人類の生存や生活改善に農学の立場から貢献する人材を養成する。教員養成においては、本学の教員養成理念の下、発展著しい生命科学と環境科学の成果を反映させた農学教育を通じて、高い倫理観と協働力の醸成を計り、教職に対する強い使命感を持った人材を輩出する。

そのために、生物、化学、物理学、地学に関連する基礎科目を基盤とし、4つの専門分野（国際乾燥地農学、里地里山環境管理学、植物菌類生産科学、農芸化学）に対応するコースにおいて、その専門性を高めるとともに、全学教育プログラム「グローバル人材育成プログラム」との密接な連携によって、本学科が目指す地域規模から地球規模までの広範な課題の解決に貢献できる人材の養成を目指す。このような人材養成システムの下で、以下の教員の養成をおこなう。

中学校教諭一種免許状（理科）、高等学校教諭一種免許状（理科）については、生物学、化学、物理学、地学の「理科」の基礎科目を基盤とし、発展著しい生命科学に関連した専門科目とその成果を反映させた農学教育により、「理科」科目とそれらの境界領域に関する高度な専門知識を修得し、実験・実習、フィールドワークを通じて醸成した実践力と協働力のある「理科」教員を養成する。

高等学校教諭一種免許状（農業）については、生命科学と環境科学の成果を取り入れた「農業」関係科目（栽培、育種、園芸、畜産、農業機械、農業土木、農業経済、食品科学、森林科学、造園、バイオテクノロジー、微生物利用等）と豊富な実験・実習の修得により、高度な専門知識と応用能力を身につけた教員を養成する。